

南海トラフ地震への対応について

「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ沿いで異常な現象を観測された場合や地震発生の可能性が高まっていると評価された場合などに、気象庁から情報発表されるものです。

1 南海トラフ地震臨時情報が、以下のように発表された場合

- 巨大地震 注意 ⇒ 注意対応をとりながら、普段の学校生活を続けます。
- 巨大地震 警戒 ⇒ 1週間の臨時休校
登校後なら、学校に待機します。その際は安全確保の上で迎えに来てもらうなどの対応をとります。(メールや町の放送などで連絡をします)

2 登下校中や放課後休日等に、津波警報や大津波警報が発表された場合

登下校中

- ・ 原則、自宅か学校か安全で近い方に向かう。
ただし、緊急のときは、役場や公民館など高い場所に避難することもある。
- ・ 建物、ブロック塀などから離れる。 ・ 切れた電線に絶対に触らない。
- ・ 町の放送をよく聞く。
- ・ 子ども110番の家へ、もしくは近くに大人の人がいれば助けを求める。など

放課後や休日

- ・ ご家庭等で約束をしている避難場所があれば、そちらに避難をする。
- ・ 携帯電話が繋がらないこともある。そのため、自分で考えて行動する必要がある。
- ・ 「津波警報」「大津波警報」が出たときは、自宅の方向であっても、海や川の方には向かわずに、高い場所へ逃げる。避難したらもどらない。
(川北公園 朝日町町民スポーツ施設 役場などの大きな建物 など)

保護者の皆様へ

- ・ 防災ノートでは、そのときにいる場所で起こる危険なことを考えて避難することを学習しています。心配される津波等への対応について、学校でも話をしておりますが、ご家庭でもよろしくお願ひします。
- ・ 子どもたちが、学校や避難場所で待機になることも考えられます。安否情報や引き渡しなどについては、メールや町の放送等で連絡を行います。